

2012年12月21日

各位

オリックス不動産株式会社



**～ 京都・宮津の海で捕れた「マダコ」が
人工海水での飼育環境で産卵・孵化～
「マダコ」の赤ちゃん(仔ダコ)を展示中**

オリックス不動産株式会社(所在地:東京都港区、代表取締役社長:山谷 佳之)は、『京都水族館』(京都市下京区)において京都・宮津の海で捕れた「マダコ」の産卵、孵化に成功しました。2階「海洋ゾーン」内の展示コーナー「無脊椎の世界」にて、「マダコ」の赤ちゃん(仔ダコ)を展示しています。

「マダコ」の孵化は、2012年12月16日(日)に初めて確認をしました。現在も、展示コーナー「無脊椎の世界」内の「マダコ」の水槽の中をよく観察すると、かわいらしい透明な姿の赤ちゃん(仔ダコ)が浮遊している姿を見ることができます。

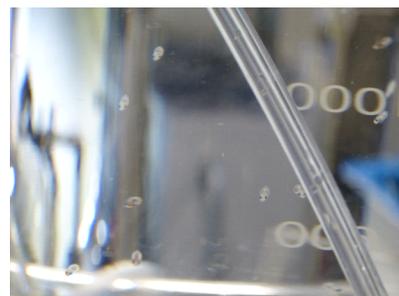
「マダコ」の産卵・孵化は珍しくはありませんが、人工海水での飼育環境で、日本の水族館が産卵・孵化に成功した事例は珍しいものです。『京都水族館』においても「マダコ」の産卵・孵化は今回が初めてです。

『京都水族館』では、現在、孵化・産卵した「マダコ」の赤ちゃん(仔ダコ)の飼育を試みっていますが、大人にまで成長させるのは非常に難しいと言われていています。大人の「マダコ」にはアジやキビナゴなどの餌をあげて飼育をしていますが、赤ちゃん(仔ダコ)の「マダコ」はどんな餌をあげれば良いのかなど、飼育手法が明確に確立されていないためです(『京都水族館』では現在、エビやシラスをミンチにした餌や、アルテミア(動物プランクトン的一种)を与えることを試みています。)

『京都水族館』では、今回の「マダコ」の赤ちゃん(仔ダコ)を含め、今後も人工海水での飼育環境で京都の海にすむいきものの産卵、孵化、繁殖に取り組んでいきます。



顕微鏡で撮影した「マダコ」の赤ちゃん(仔ダコ)
現時点で全長は約2.5～3.0mmです



白い粒々が「マダコ」の赤ちゃん(仔ダコ)
水中を浮遊している姿を見ることができます



京都・宮津の海で捕れた「マダコ」
地元の漁師の方に譲っていただきました

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

京都水族館 広報担当 橋本・奥村・久保田 TEL:075-354-3116

＜お客様からのお問い合わせ先＞

京都水族館 TEL:075-354-3130(9時～17時) FAX:075-354-3170

公式ホームページ <http://www.kyoto-aquarium.com>

〒600-8835 京都市下京区観喜寺町 35-1(梅小路公園内)